

特別会計

(単位:万円)

会計名	●歳入決算額	●歳出決算額
国民健康保険事業	91億3,816	90億5,597
介護保険事業	57億8,562	54億9,700
後期高齢者医療事業	18億9,892	18億6,826
土地区画整理事業	16億8,488	14億9,394
企業用地造成事業	7,380	3,705
公共用地対策事業	7億 17	9,206
下水道事業	27億 613	24億3,565
三谷町財産区	6,428	3,197
西浦町財産区	1,344	1,060
合計	220億6,540	205億2,250

企業会計

(単位:万円)

会計名	●収益的	●資本的
水道事業	収入決算額 20億2,660	3億3,161
	支出決算額 16億6,675	9億7,161
病院事業	収入決算額 67億7,973	8億4,166
	支出決算額 72億9,323	12億3,281
モーターボート競走事業	収入決算額 930億6,276	3億2,646
	支出決算額 892億1,350	17億3,028

モーターボート競走事業会計は、病院事業会計に12億5,000万円、下水道事業特別会計に6億7,000万円、土地区画整理事業特別会計に2億8,000万円、合計22億円を繰り出しました。

健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成28年度決算における健全化判断比率と資金不足比率をお知らせします。

平成28年度決算における算定の結果、財政の健全度を表す健全化判断比率の4指標はすべて「早期健全化基準」と「財政再生基準」を下回っており、市の財政は健全性を確保できています。また、公営企業会計でも資金不足は発生していません。

健全化判断比率

(単位:%)

区分	蒲郡市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	12.65	20.00
連結実質赤字比率	-	17.65	30.00
実質公債費比率	-0.8	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率の「-」は、実質的な赤字が発生していないことを表します。

※将来負担比率の「-」は、実質的な将来負担が発生していないことを表します。

資金不足比率

(単位:%)

公営企業会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
病院事業会計	-	20.0
モーターボート競走事業会計	-	20.0
下水道事業特別会計	-	20.0
企業用地造成事業特別会計	-	20.0

※資金不足比率の「-」は、各会計で資金不足が発生していないことを表します。

健全化判断比率

次の4つの指標で財政状況を判断します。

①実質赤字比率

一般会計などにおける赤字の程度を示す指標で、数値が大きいほど赤字の額が多くなり、厳しい財政状況にあると言えます。

②連結実質赤字比率

①と同様の指標で、全会計の赤字や黒字を合算し、市全体としての収支状況を示すものです。

③実質公債費比率

借入金の返済額などの大きさを示す指標で、数値が大きいほど返済以外に使えるお金が少ない状況にあると言えます。

④将来負担比率

一般会計などの借入金や、将来負担すべき実質的な負債の程度を示す指標で、数値が大きいほど将来的に財政が圧迫される可能性が高いと言えます。

資金不足比率

公営企業会計ごとの資金不足額を示す指標で、数値が大きいほど経営状況が厳しいと言えます。

